

大阪経済の情勢

(平成26年12月指標を中心に)

平成 27 年 2 月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、一部に弱い動きがみられる」

需要面では、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。家電販売額(11月)、新車販売台数は減少したが、大型小売店販売額、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は増加。投資は、このところ弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少した。公共投資は減少。輸出は、持ち直している。輸出額は22ヶ月連続で増加。主要国向けではすべての地域向けで増加。輸入額は2ヶ月ぶりの増加。取扱貨物量は、関空は増加、大阪港は減少。

供給面では、生産動向は持ち直しの兆しがみられる。大阪府(11月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(11月)は低下、全国の前年同月比(12月)は上昇。在庫循環は意図せざる在庫増局面。雇用は、求人増加に一服感がみられるものの、基調としては改善している。近畿の失業率は改善し、所定外労働時間(11月)は増加。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産では、件数、負債金額はともに改善。

先行きについては、景気動向指数(先行)は低下。今後は、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

| | | 需要 | | | | | | | | |
|-----|--|----------|-------------|------------|----------|----------|------------|-----------|--------|---------|
| | | 総合 | 消費 | | | | 投資 | | 貿易・貨物 | |
| | | 一致CI(大阪) | 大型小売店販売(大阪) | コンビニ販売(近畿) | 家電販売(近畿) | 新車販売(大阪) | 新設住宅着工(大阪) | 建築物着工(大阪) | 輸出(近畿) | 関空取扱貨物量 |
| 12月 | | | ↑ | ↑ | | ↓ | ↓ | ↓ | ↑ | ↑ |
| 11月 | | ↓ | ↑ | ↑ | ↓ | ↓ | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |

| | | 供給 | | | | その他 | |
|-----|--|----------|----------|------------|----------|-----------|---------|
| | | 生産 | | 雇用 | | 倒産 | 観光 |
| | | 生産指数(大阪) | 生産指数(全国) | 有効求人倍率(大阪) | 失業率*(近畿) | 倒産件数*(大阪) | 関空外国人旅客 |
| 12月 | | | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |
| 11月 | | ↓ | ↓ | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |

※前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

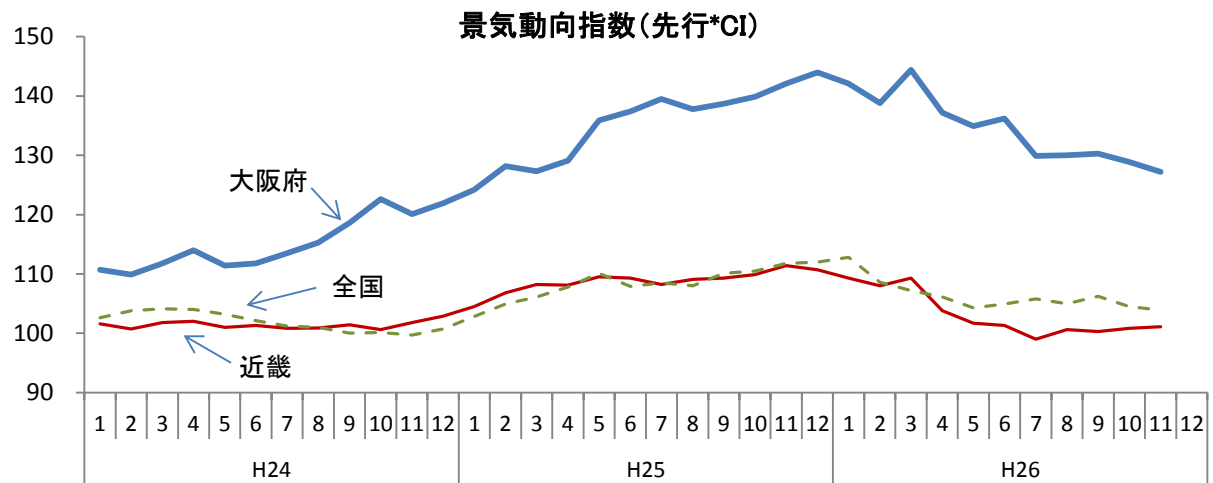
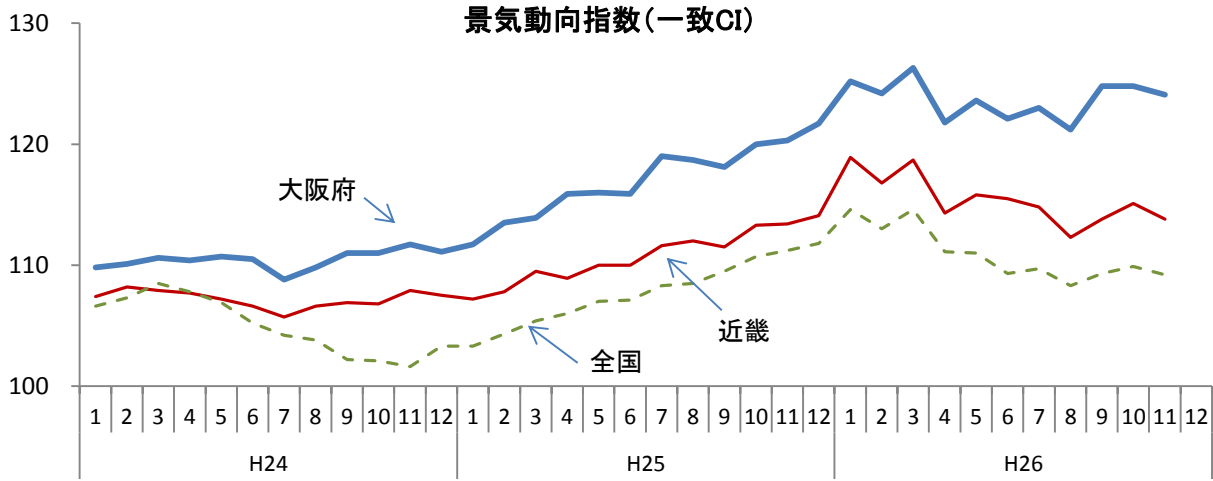
(参考)他機関の総括判断

| | 前回(26年12月公表分) (26年10月指標中心) | 今回(27年1月公表分) (26年11月指標中心) |
|--------------------------------------|---|---|
| 内閣府「月例経済報告」 | 景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 | 景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 |
| 近畿経済産業局「近畿経済の動向」 | 近畿地域の経済は、改善の動きがみられるものの、一部に足踏み状態。 | 近畿地域の経済は、改善の動きがみられるものの、一部に足踏み状態。 |
| 日本銀行大阪支店「近畿地域金融経済概況」 | 近畿地域の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調としては緩やかに回復している。 | 近畿地域の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調としては緩やかに回復している。 |

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(11月)は一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」、「生産財出荷指数」が低下に寄与。近畿(11月)は一致CIは上昇、先行CIは低下。全国(11月)の一致CIは低下。】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※ H22=100。

先行 CI は、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致 CI

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|---------|-----|
| 大阪府 | 124.8 | P 124.1 | |
| 近畿 | 115.1 | P 113.8 | |
| 全国 | 109.9 | 109.2 | |

先行 CI

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|---------|-----|
| 大阪府 | 128.9 | P 127.2 | |
| 近畿 | 100.8 | P 101.1 | |
| 全国 | 104.5 | 103.9 | |

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、11月速報)

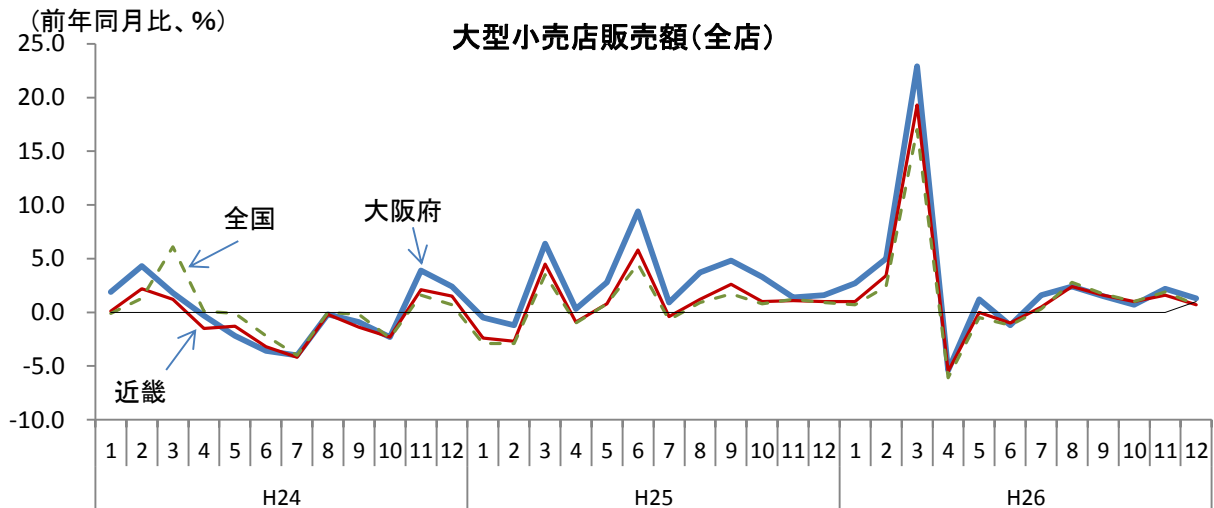
| 百貨店売場面積当たり販売額 | 大阪税関管内輸入通関額 | 製造工業生産指数 | 生産財出荷指数 | 関西大口電力使用量(合計) | 有効求人倍率 | 所定外労働時間指数(製造業) |
|---------------|-------------|----------|---------|---------------|--------|----------------|
| 0.30 | ▲0.26 | ▲0.49 | ▲0.34 | ▲0.12 | 0.21 | ▲0.02 |

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。家電販売額(11月)、新車販売台数は減少したが、大型小売店販売額、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は増加。

○大型小売店販売額(全店)【6ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

大型小売店販売額(全店)

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|---------|
| 販売額(億円) | 大阪府 | 1,407 | 1,552 | P 1,987 |
| 前年比(%) | 大阪府 | 0.7 | 2.2 | P 1.3 |
| | 近畿 | 1.0 | 1.6 | P 0.7 |
| | 全国 | 1.0 | 1.9 | P 0.7 |

大阪府内大型小売店へのヒアリングより(12月)

12月は気温が低下し、先月まで伸び悩んだ冬物商材がようやく動き出した。昨年、消費増税前の駆け込み需要のあった大型家電や羽毛布団などは引き続き苦戦が続く。

百貨店では厚手のコートやセーター、防寒性能の高いシューズが好調を博し、クリスマス向けのドレスや成人式用の髪飾りなどイベント商材も伸長した。外国人旅行者への売上高(全国)は3ヶ月連続で過去最高を更新しており、府内でも都心部の店舗では対前年同月比で2~3倍前後といった盛況ぶりとなっている。

スーパーでは白菜や大根といった主力野菜が相場安となった影響が売上に響いたが、ふぐ、カニ、黒毛和牛といった高級食材は好調に推移している。気温の冷え込みの影響で、先月不調だった手袋やマフラー、鍋物食材も好調となった。異物混入事件の影響で冷凍食品は売上を落とし、NHKの連続ドラマの効果でウイスキーは大幅に売上を伸ばした。

百貨店(大阪府)

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|--|--------|-----|---------|
| 販売額(億円) | | 706 | 823 | P 1,090 |
| 前年比(%) | | 0.4 | 2.6 | P 1.8 |

スーパー(大阪府)

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|--|--------|-----|-------|
| 販売額(億円) | | 702 | 729 | P 897 |
| 前年比(%) | | 1.1 | 1.7 | P 0.8 |

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は22ヶ月連続の増加。】

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|----|--------|-------|---------|
| 販売額(億円) | 近畿 | 1,326 | 1,265 | P 1,351 |
| 前年比(%) | 近畿 | 7.8 | 6.3 | P 6.5 |
| | 全国 | 6.0 | 5.2 | P 5.6 |

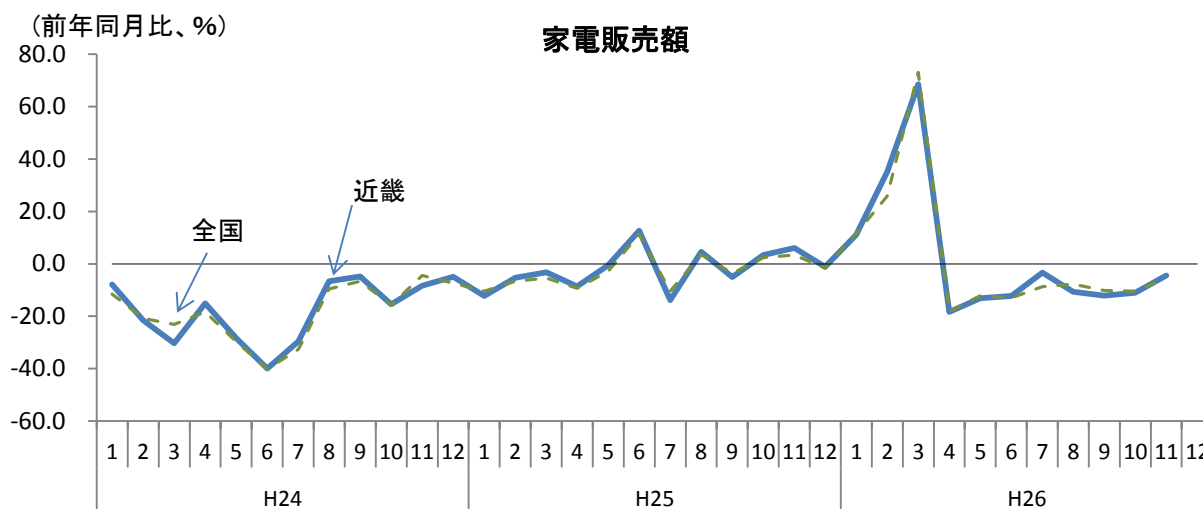
○家計消費支出【近畿は3ヶ月ぶりの増加。】

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|--------|----|---------|---------|---------|
| 円 | 近畿 | 306,083 | 302,791 | 366,799 |
| 前年比(%) | 近畿 | ▲6.6 | ▲4.2 | 3.5 |
| | 全国 | ▲0.1 | 1.7 | ▲0.2 |

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上の世帯うち勤労者世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【近畿(11月)は8ヶ月連続の減少。】



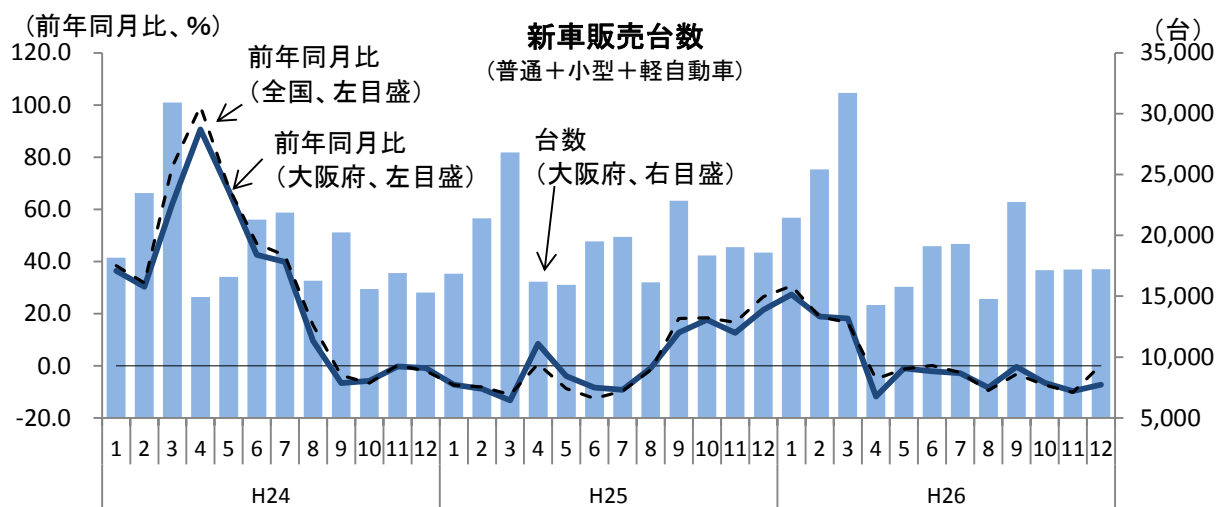
(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|----|--------|------|-----|
| 前年比 (%) | 近畿 | ▲11.0 | ▲4.5 | |
| | 全国 | ▲10.5 | ▲5.7 | |

商品別の主な増減(近畿、11月)

「携帯電話」等が前年を上回ったものの、「パソコン(本体)」、「エアコン」等が前年を下回った。

○新車販売台数【前年同月比で9ヶ月連続の減少。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|--------|--------|
| 販売額(台) | 大阪府 | 17,153 | 17,184 | 17,234 |
| 前年比 (%) | 大阪府 | ▲6.5 | ▲9.7 | ▲7.3 |
| | 全国 | ▲7.4 | ▲10.2 | 0.3 |

車種別の増減

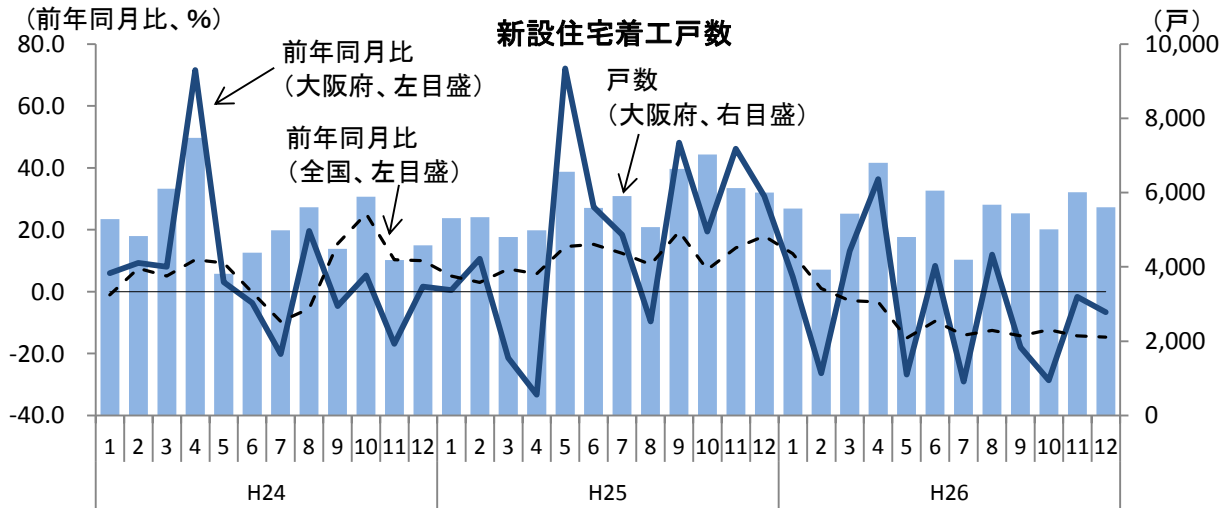
(大阪府、前年同月比(%)、12月)

| 普通車 | 小型車 | 軽自動車 |
|------|------|------|
| ▲8.0 | ▲8.6 | ▲5.1 |

[需要] 投資

投資は、このところ弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少した。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で4ヶ月連続の減少。】

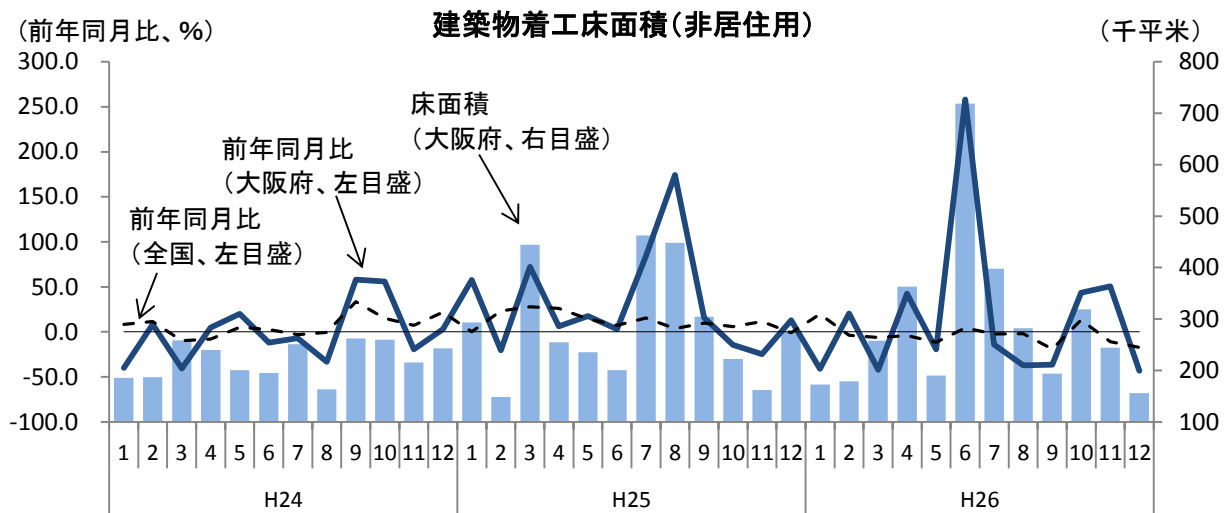


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|-------|
| 戸数 | 大阪府 | 5,015 | 6,013 | 5,605 |
| 前年比 (%) | 大阪府 | ▲28.6 | ▲1.7 | ▲6.6 |
| | 全国 | ▲12.3 | ▲14.3 | ▲14.7 |

| 利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、12月) | | |
|---------------------------------|-----|-------|
| 持家 | 貸家 | 分譲 |
| ▲23.1 | 3.9 | ▲11.0 |

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で3ヶ月ぶりの減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

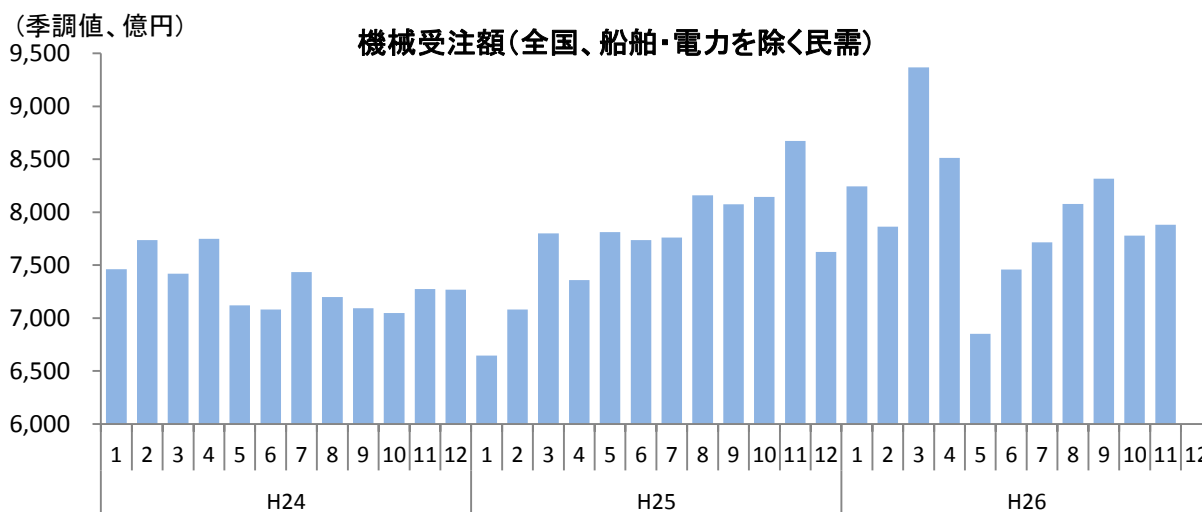
| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|-------|
| 千㎡ | 大阪府 | 319 | 244 | 156 |
| 前年比 (%) | 大阪府 | 43.4 | 50.7 | ▲43.1 |
| | 全国 | 13.3 | ▲10.9 | ▲17.3 |

| 着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、12月) | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 増加 | 教育、学習支援(4.4) |
| 減少 | その他のサービス業(▲21.1) |
| | 製造業(▲17.9) |
| | 宿泊業、飲食サービス業(▲16.5) |

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

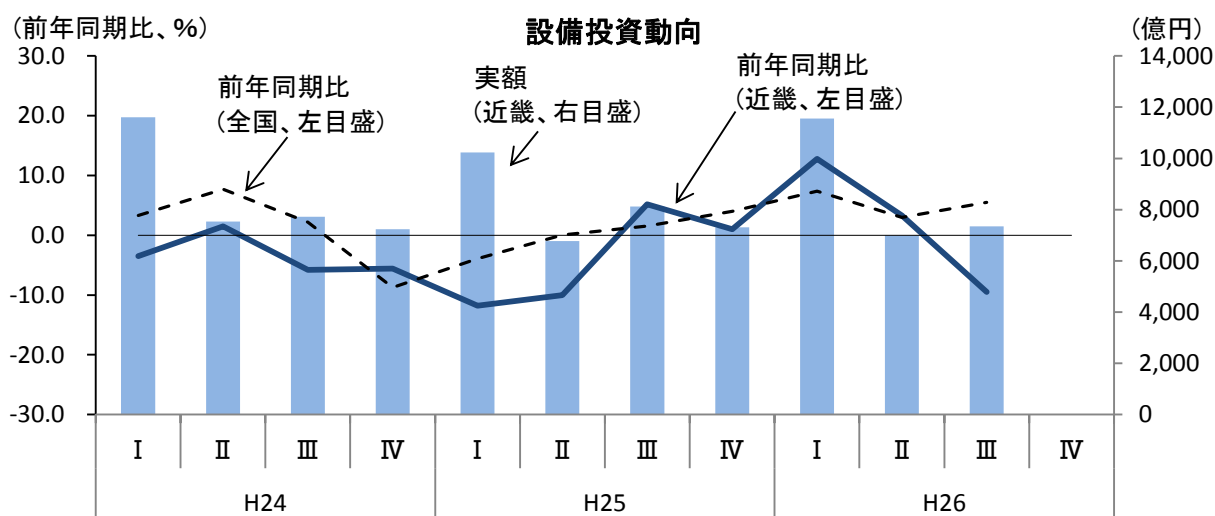
○機械受注額【11月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|--------|--------|-------|-----|
| 全国(億円) | 7,780 | 7,880 | |

○設備投資動向【7~9月期(近畿)は前年同期比で減少。「製造業」は増加、「非製造業」は減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

| | | 26年1~3月 | 4~6月 | 7~9月 |
|----------|----|---------|-------|-------|
| 億円 | 近畿 | 11,549 | 7,001 | 7,351 |
| 前年同期比(%) | 近畿 | 12.8 | 3.3 | ▲9.5 |
| | 全国 | 7.4 | 3.0 | 5.5 |

○公共工事請負金額【2ヶ月連続の減少。】

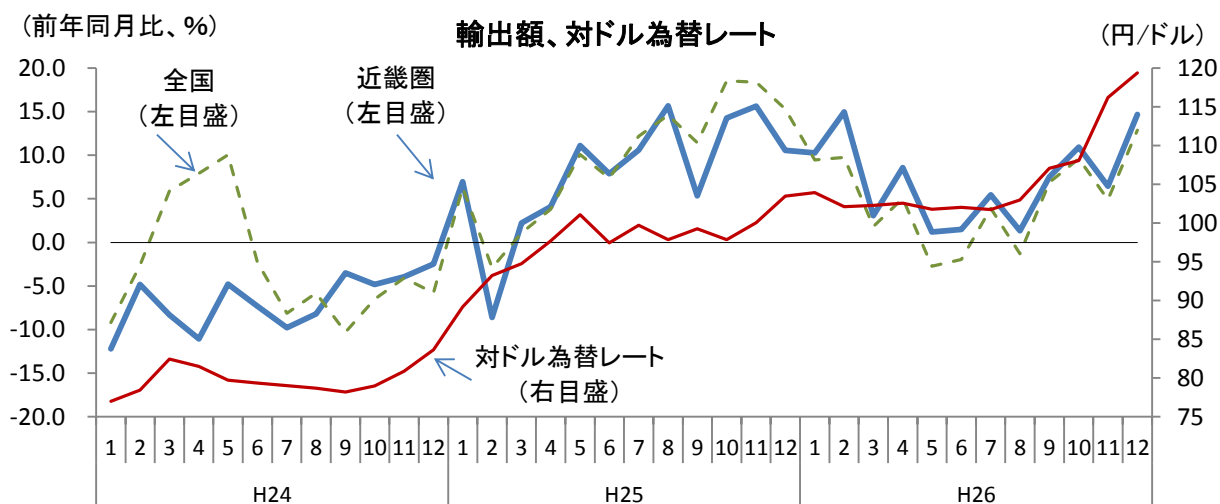
| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|--------|-----|--------|-------|-------|
| 億円 | 大阪府 | 531 | 282 | 285 |
| 前年比(%) | 大阪府 | 53.0 | ▲10.4 | ▲37.8 |
| | 全国 | ▲7.4 | ▲10.4 | 1.0 |

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

[需要] 貿易・貨物

輸出は、持ち直している。輸出額は22ヶ月連続で増加。主要国向けではすべての地域向けで増加。輸入額は2ヶ月ぶりの増加。取扱貨物量は、関空は増加、大阪港は減少。

○輸出額【22ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「科学光学機器」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】

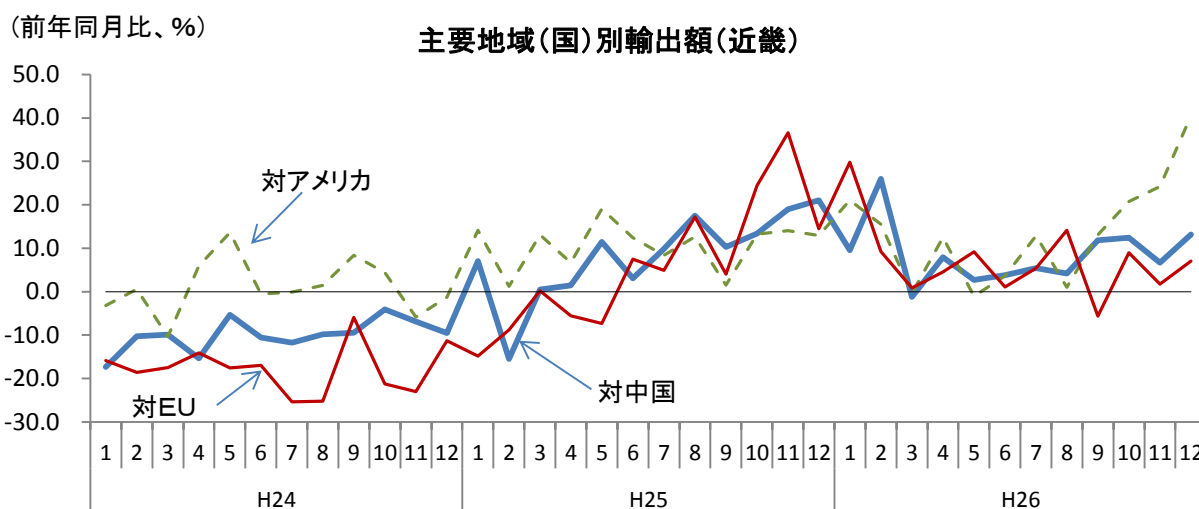


(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-------------|----|--------|--------|----------|
| 輸出額(億円) | 近畿 | 14,253 | 13,226 | P 15,005 |
| 前年比 (%) | 近畿 | 11.0 | 6.5 | P 14.7 |
| | 全国 | 9.6 | 4.9 | P 12.9 |
| 為替レート(円/ドル) | | 108.06 | 116.22 | 119.40 |

| 品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、12月) | |
|----------------------------------|-----------------|
| 増加 | 半導体等電子部品、科学光学機器 |
| 減少 | 鉱物性燃料、半導体等製造装置 |

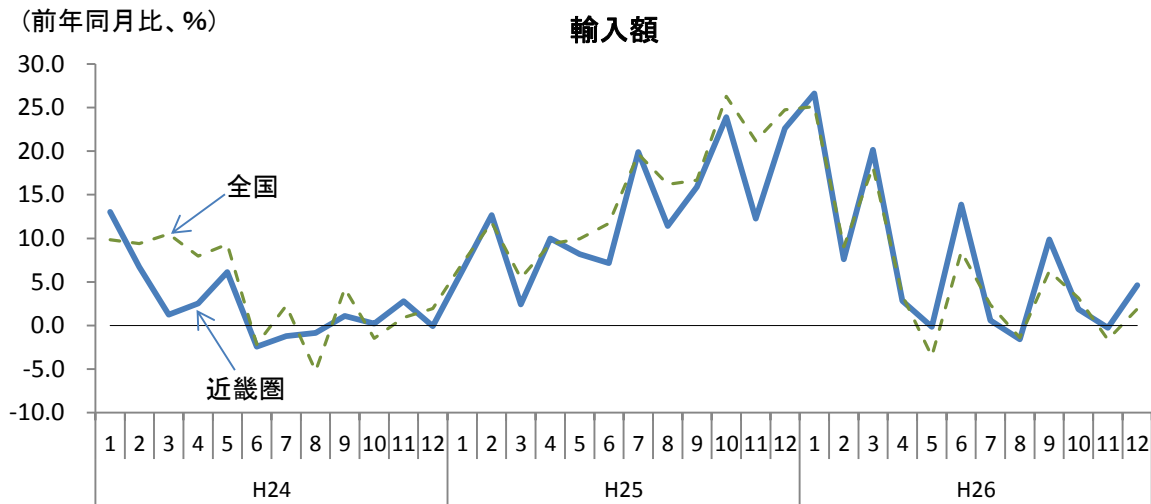


(資料) 大阪税関「貿易統計」

| 主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、12月) | | |
|-------------------------------|------|----------|
| アジア(含む中国) | 12.9 | 4ヶ月連続の増加 |
| 中国 | 13.1 | 9ヶ月連続の増加 |
| EU | 7.1 | 3ヶ月連続の増加 |
| アメリカ | 40.5 | 7ヶ月連続の増加 |

[需要] 貿易・貨物

○輸入額【2ヶ月ぶりの増加。「天然ガス及び製造ガス」、「半導体等製造装置」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|----|--------|----------|----------|
| 輸入額(億円) | 近畿 | 14,230 | P 13,445 | P 14,495 |
| 前年比 (%) | 近畿 | 1.9 | P ▲0.3 | P 4.6 |
| | 全国 | 3.1 | P ▲1.6 | P 1.9 |

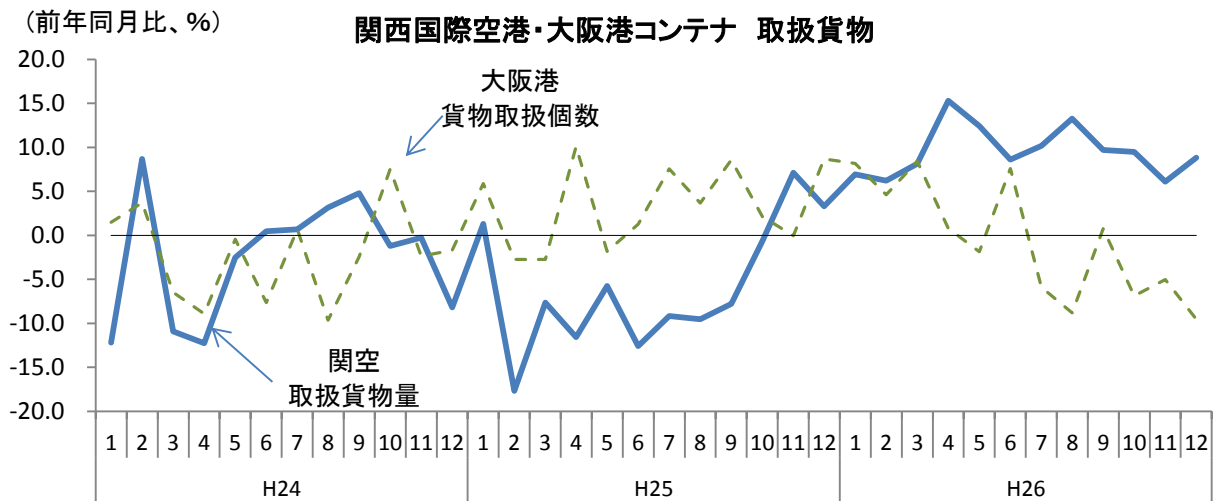
品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、12月)

| | |
|----|---------------------|
| 増加 | 天然ガス及び製造ガス、半導体等製造装置 |
| 減少 | 医薬品、鉄鉱石 |

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、12月)

| | | |
|-----------|------|----------|
| アジア(含む中国) | 4.4 | 2ヶ月ぶりの増加 |
| 中国 | 1.9 | 2ヶ月ぶりの増加 |
| EU | ▲4.1 | 2ヶ月連続の減少 |
| アメリカ | 19.8 | 8ヶ月連続の増加 |

○関空取扱貨物量【14ヶ月連続の増加】、大阪港コンテナ貨物取扱個数【3ヶ月連続の減少。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」、大阪市「港湾統計」

※関西国際空港貨物取扱量はトン、大阪港コンテナ貨物取扱個数はTEUで、外貿の実入+空の合計。

※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示す。

関空取扱貨物量

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|--------|--------|--------|--------|
| 千トン | 65.2 | P 66.8 | P 66.1 |
| 前年比(%) | 9.5 | P 6.1 | P 8.8 |

大阪港コンテナ貨物取扱個数

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|--------|--------|---------|---------|
| 千TEU | P 188 | PP 178 | PP 180 |
| 前年比(%) | P ▲6.9 | PP ▲5.0 | PP ▲9.5 |

※PPは速報値

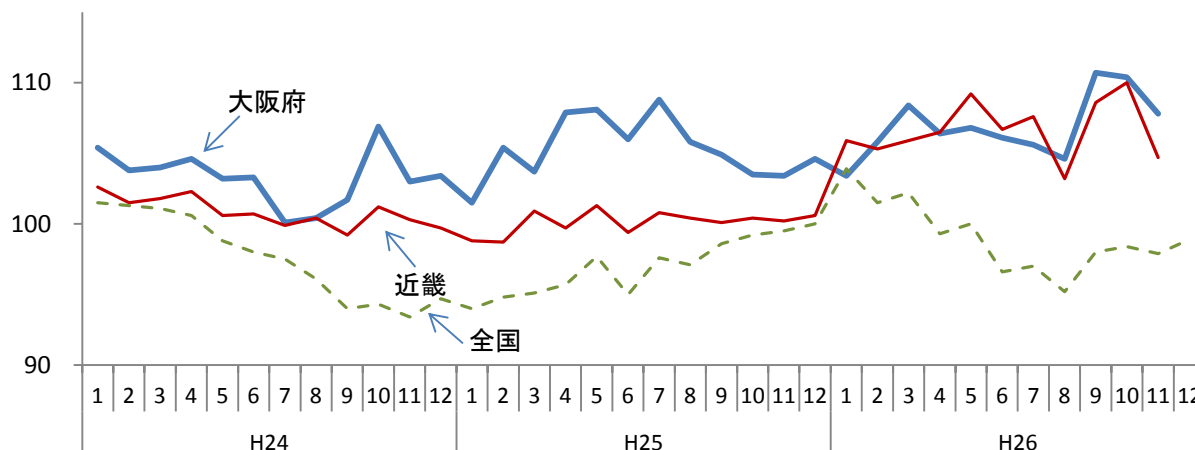
[供給] 生産

生産動向は持ち直しの兆しがみられる。大阪府(11月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(11月)は低下、全国の生産(12月)は上昇。在庫循環は意図せざる在庫増局面。

○**鉱工業生産指数【大阪府(11月)は2ヶ月連続の低下。「金属製品」、「その他工業」などが低下。近畿(11月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。全国(12月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。】**

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

| 季調済 | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|---------|--------|
| 大阪府 | 110.4 | P 107.8 | |
| 近畿 | 110.0 | 104.7 | |
| 全国 | 98.4 | 97.9 | P 98.9 |

産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、11月速報)

| | |
|----|---|
| 上昇 | 電子部品・デバイス(12.1):液晶素子 窯業・土石製品(8.2): 無アルカリガラス基板、板ガラス プラスチック製品(2.3):プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製フィルム・シート |
| 低下 | 金属製品(▲13.1):橋りょう、飲料用アルミニウム缶 その他(▲7.6): 平版印刷(オフセット印刷)、工業用ゴム製品 化学(▲1.9):アンモニア、合成洗剤 |

○**鉱工業出荷指数【大阪府(11月)は2ヶ月連続の低下。「金属製品」、「はん用・生産用・業務用機械」などが低下。近畿(11月)は3ヶ月ぶりの低下。全国(12月)は2ヶ月ぶりの上昇。】**

| 季調済 | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|--------|--------|
| 大阪府 | 99.7 | P 97.1 | |
| 近畿 | 107.7 | 102.1 | |
| 全国 | 98.6 | 97.2 | P 98.3 |

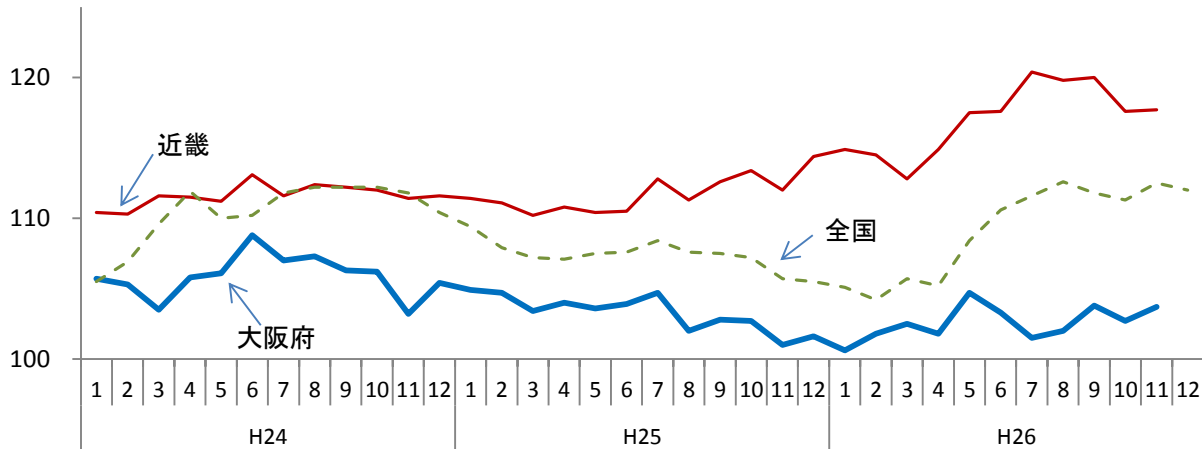
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

【供給】 生産

○**鉱工業在庫指数【大阪府(11月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学」、「鉄鋼」などが上昇。近畿(11月)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(12月)は2ヶ月ぶりの低下。】**

(季節調整済)

鉱工業在庫指数

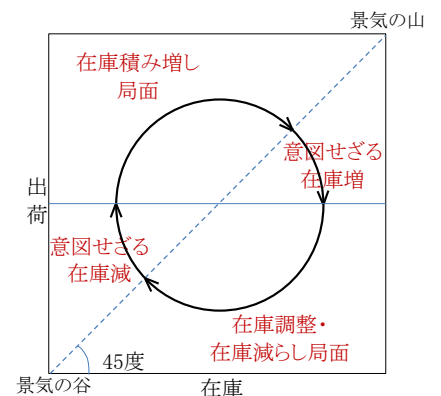
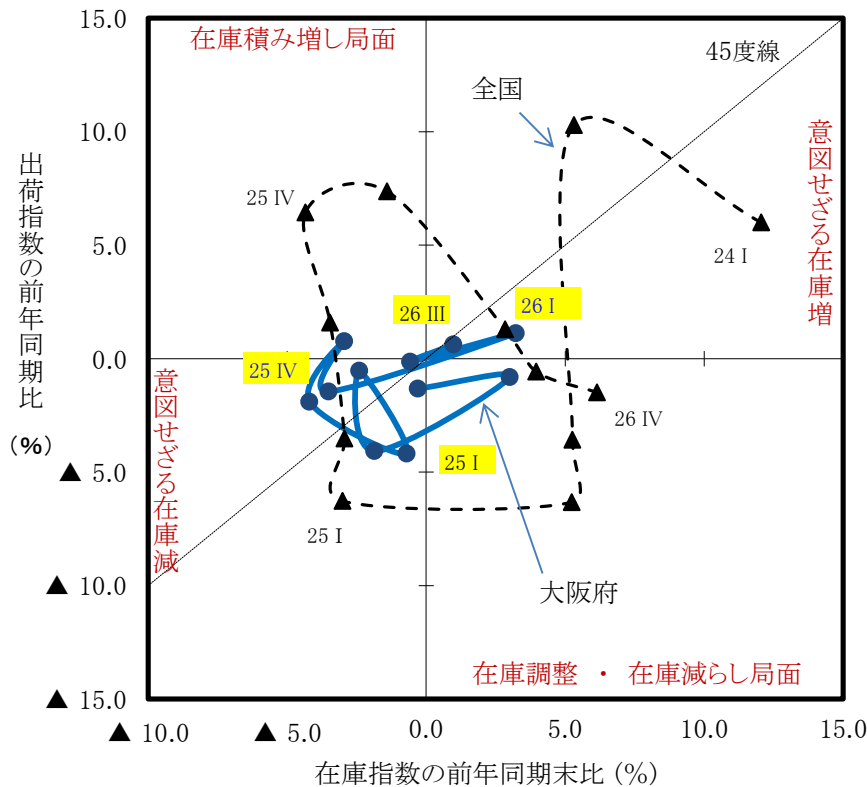


(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。H22=100。

| 季調済 | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|---------|---------|
| 大阪府 | 102.7 | P 103.7 | |
| 近畿 | 117.6 | 117.7 | |
| 全国 | 111.3 | 112.5 | P 112.0 |

○**在庫循環図【大阪府は意図せざる在庫増局面。全国は在庫調整・在庫減らし局面。】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」

※出荷指数は原数値の四半期平均、在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。

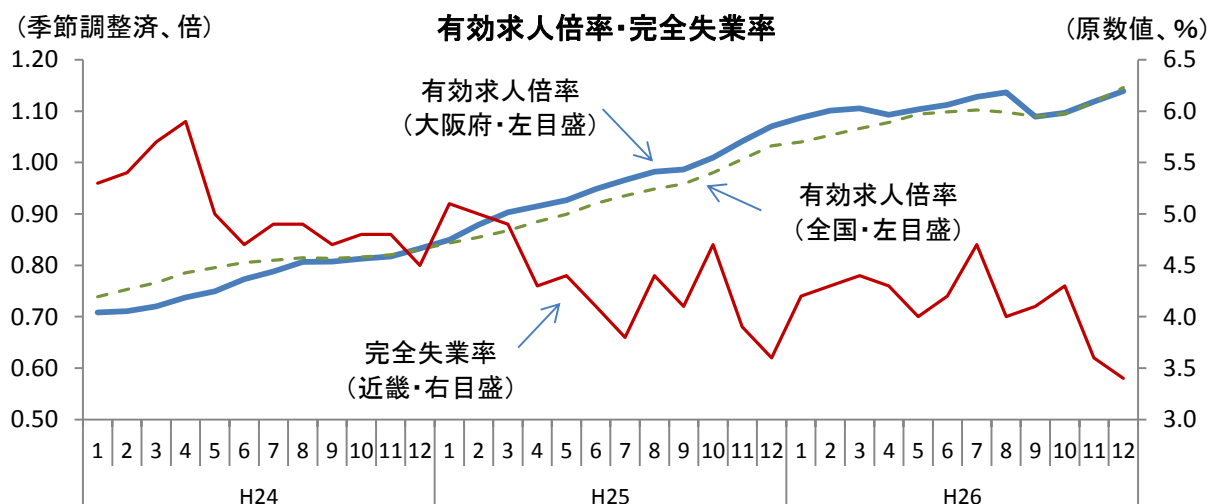
大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。

[供給] 雇用・倒産

雇用は、求人増加に一服感がみられるものの、基調としては改善している。近畿の失業率は改善し、所定外労働時間(11月)は増加。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○完全失業率【近畿は前年同月差で3ヶ月連続の低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は3ヶ月連続の上昇】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-------|--------|------|------|
| % | 4.3 | 3.6 | 3.4 |
| 前年同月差 | ▲0.4 | ▲0.3 | ▲0.2 |

完全失業率(全国、季節調整値)

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|-----|------|
| % | 3.5 | 3.5 | 3.4 |
| 前月差 | ▲0.1 | 0.0 | ▲0.1 |

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

| | 26年1~3月 | 4~6月 | 7~9月 |
|-----|---------|------|------|
| 大阪府 | 4.9 | 4.8 | 4.2 |
| 近畿 | 4.3 | 4.2 | 4.2 |
| 全国 | 3.7 | 3.7 | 3.6 |

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|------|------|
| 大阪府 | 1.10 | 1.12 | 1.14 |
| 全国 | 1.10 | 1.12 | 1.15 |

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人倍率(季節調整値、倍)

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|------|------|
| 大阪府 | 1.72 | 1.73 | 1.87 |
| 全国 | 1.69 | 1.66 | 1.79 |

若年者の有効求人倍率(大阪府、倍、12月)

| | |
|--------|------|
| 24歳以下 | 1.24 |
| 25~34歳 | 1.24 |

(資料)大阪労働局「労働市場月報」

※就職機会積み上げ方式、パートを含む

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))、12月)

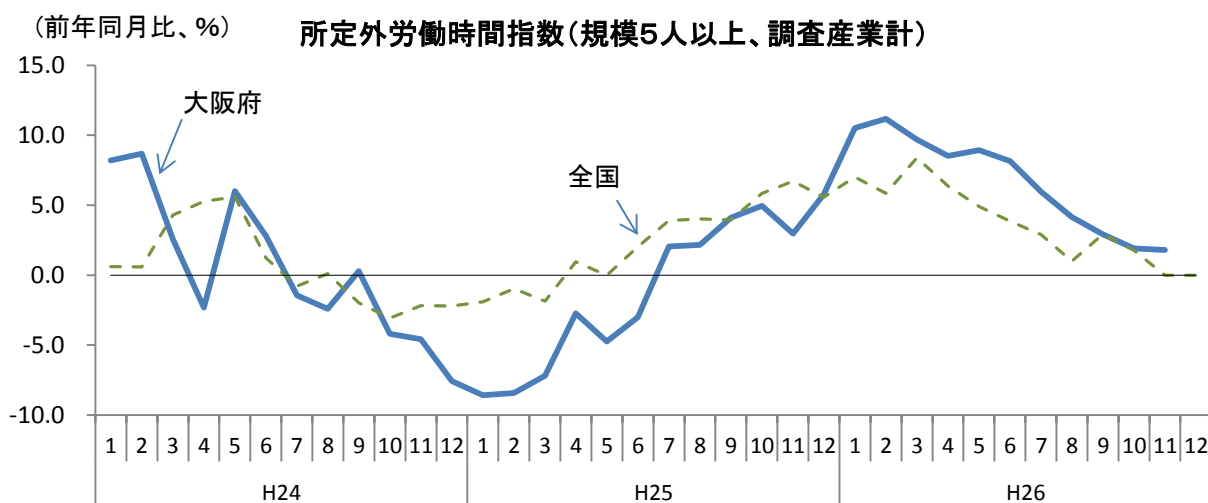
| | |
|-------------|------|
| 建設業 | ▲6.7 |
| 製造業 | 13.3 |
| 卸売業、小売業 | 6.1 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | ▲3.3 |
| 医療、福祉 | 16.8 |

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用・倒産

○所定外労働時間指数【大阪府(11月)は17ヶ月連続の増加。】



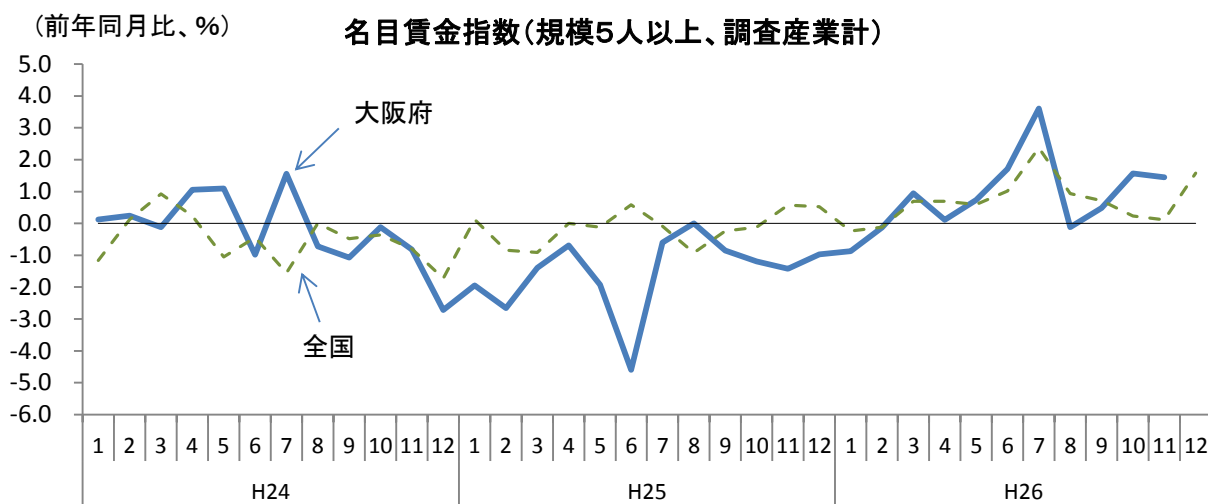
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|------------|-----|--------|-------|-------|
| H22=100 | 大阪府 | 112.5 | 113.5 | |
| 前年比 (%) | 大阪府 | 1.9 | 1.8 | |
| | 全国 | 1.8 | 0.0 | P 0.0 |

産業別所定外労働時間の主な増減 (大阪府、前年同月比(%))、11月)

| | |
|---|------------------------|
| 増 | 複合サービス業(35.5) |
| 増 | 宿泊業、飲食サービス業(18.2) |
| 増 | 不動産業、物品賃貸業(18.0) |
| 減 | 教育、学習支援業(▲37.1) |
| 減 | 学術研究、専門・技術サービス業(▲15.3) |
| 減 | 情報通信業(▲10.5) |

○名目賃金指数【大阪府(11月)は3ヶ月連続の増加。】



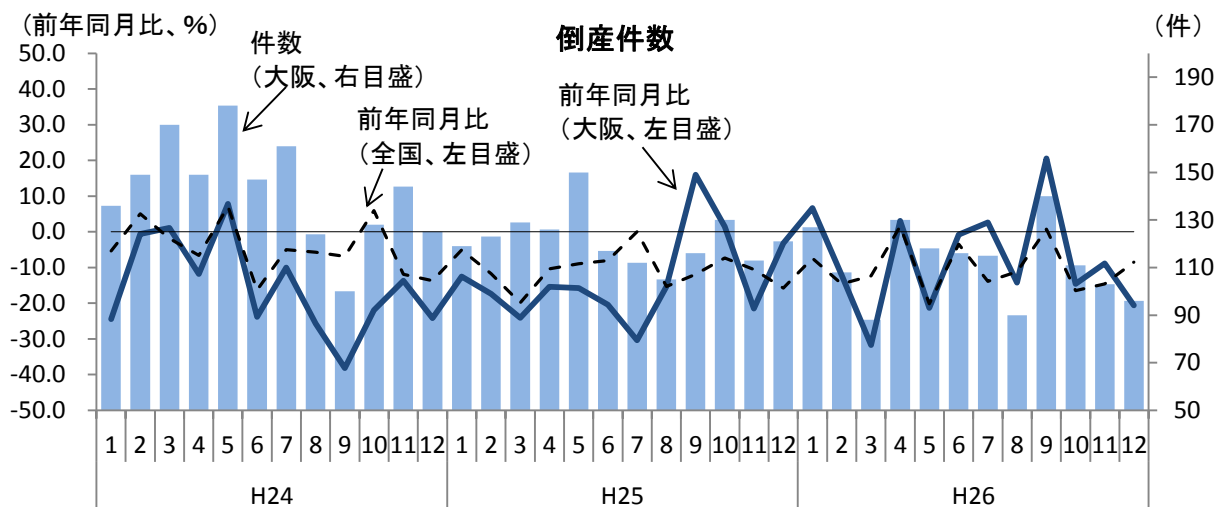
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|------------|-----|---------|---------|-------|
| 現金給与総額(円) | 大阪府 | 286,685 | 285,405 | |
| 前年比 (%) | 大阪府 | 1.6 | 1.4 | |
| | 全国 | 0.2 | 0.1 | P 1.6 |

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

[供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は前年同月比で3ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で5ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|-------|
| 件 | 大阪府 | 111 | 103 | 96 |
| 前年比 (%) | 大阪府 | ▲14.6 | ▲8.8 | ▲20.6 |
| | 全国 | ▲16.5 | ▲14.6 | ▲8.5 |

負債金額

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|------|
| 億円 | 大阪府 | 99 | 82 | 163 |
| 前年比 (%) | 大阪府 | ▲30.9 | ▲27.2 | ▲6.0 |
| | 全国 | ▲20.1 | ▲16.2 | 32.6 |

主要業種の倒産件数(大阪府)

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|-------|--------|-----|-----|
| 建設業 | 20 | 17 | 19 |
| 製造業 | 21 | 12 | 14 |
| 卸売業 | 22 | 20 | 19 |
| 小売業 | 11 | 12 | 7 |
| サービス業 | 25 | 35 | 29 |

主な倒産(大阪府、12月)

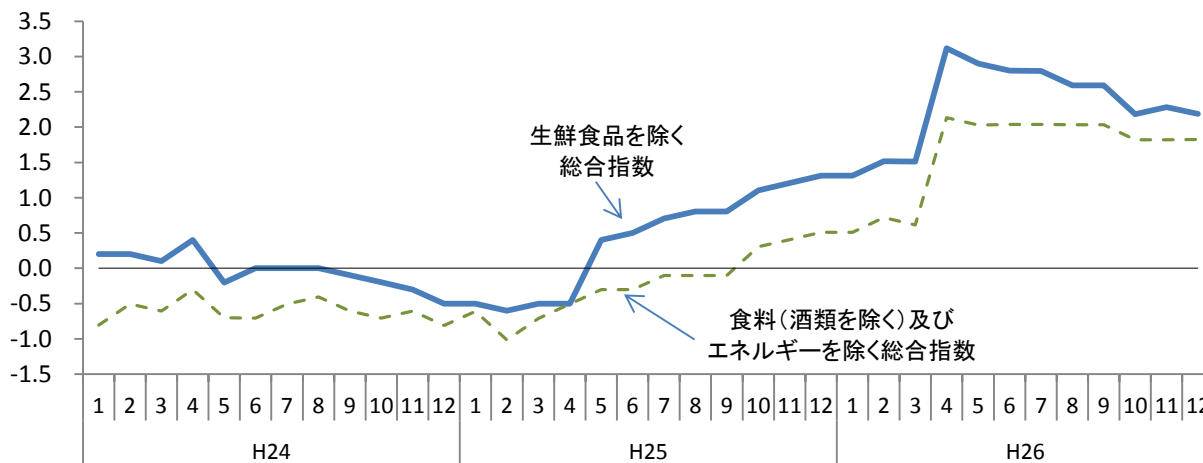
| 業種 | 負債額 (百万円) | 倒産原因 |
|--------------|-----------|---------|
| ボウリング場経営 | 9,800 | 販売不振 |
| 看板製造、サイン工事ほか | 930 | 既往のシワ寄せ |
| パチンコ店経営 | 800 | 他社倒産の余波 |
| マンション・戸建建築販売 | 468 | 過小資本 |

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 20 ヶ月連続で上昇。「教養娯楽」、「光熱・水道」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 15 ヶ月連続で上昇。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|---------|
| 指数 | 大阪市 | 103.0 | 103.0 | P 102.7 |
| 前年比 (%) | 大阪市 | 2.3 | 2.3 | P 2.2 |
| | 全国 | 2.9 | 2.7 | 2.5 |

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

| | | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|--------|-------|---------|
| 指数 | 大阪市 | 100.7 | 100.6 | P 100.4 |
| 前年比 (%) | 大阪市 | 1.8 | 1.8 | P 1.8 |
| | 全国 | 2.2 | 2.1 | 2.1 |

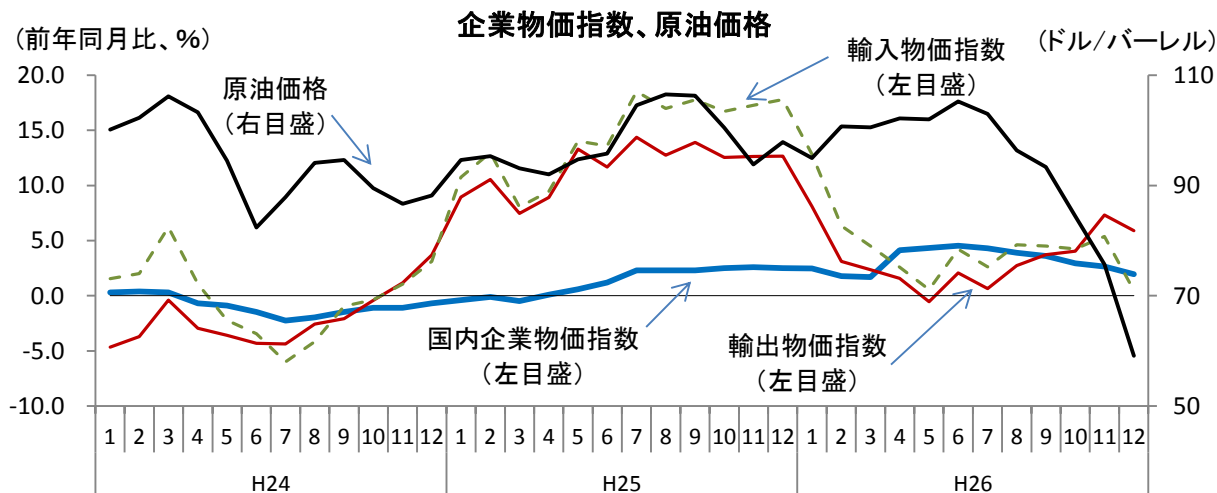
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、12月速報)

| | |
|----|---|
| 上昇 | <u>教養娯楽(4.0)</u> : 教養娯楽サービス(写真プリント代、カラオケルーム使用料)、教養娯楽用品(がん具自動車、家庭用ゲーム機(携帯型)) <u>光熱・水道(4.7)</u> : 電気代(電気代)、ガス代(都市ガス代、プロパンガス) |
| 低下 | — |

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数、輸出物価指数、輸入物価指数はいずれも上昇。原油価格は低下。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数（前年同月比（％））

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--------|-----|-------|
| 国内企業物価指数 | 2.9 | 2.6 | P 1.9 |
| 輸出物価指数 | 4.0 | 7.3 | P 5.9 |
| 輸入物価指数 | 4.1 | 5.4 | P 0.5 |

原油価格 (WTI)

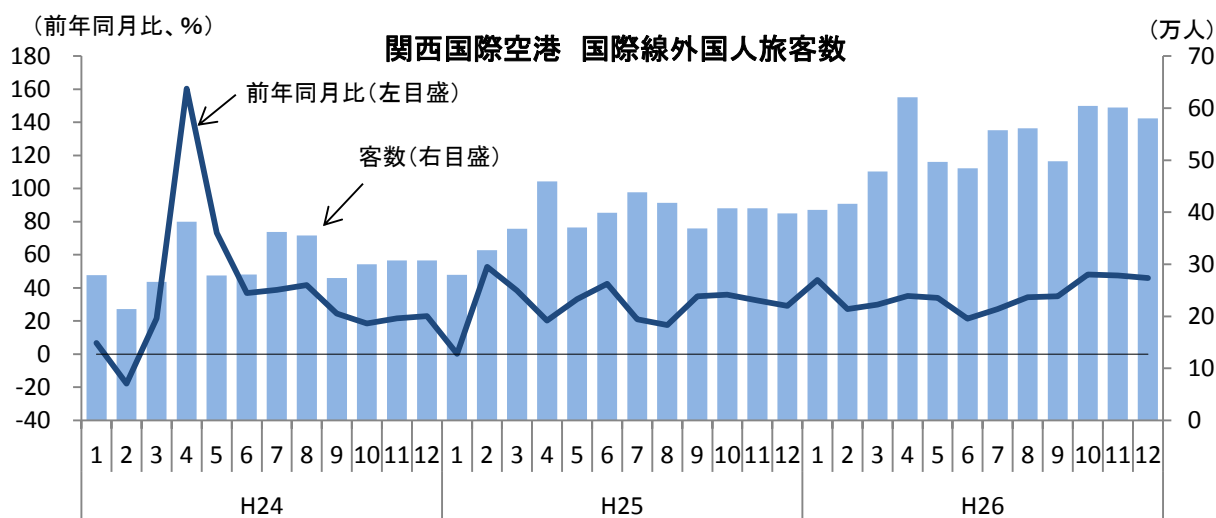
| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|---------|--------|-------|-------|
| ドル/バーレル | 84.40 | 75.70 | 59.10 |

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した
主な類別・品目 (12月速報、寄与度(％))

| |
|--------------------------------------|
| 非鉄金属 (0.05) : |
| アルミニウム合金・同二次合金地金、金地金、アルミニウム・同合金ダイカスト |
| 農林水産物 (0.04) : 豚肉、鶏卵、鶏肉 |
| 石油・石炭製品 (▲0.40) : |
| ガソリン、軽油、A重油 |
| 化学製品 (▲0.11) : |
| ベンゼン、キシレン、スチレンモノマー |
| スクラップ類 (▲0.02) : 鉄くず |

[その他] 観光

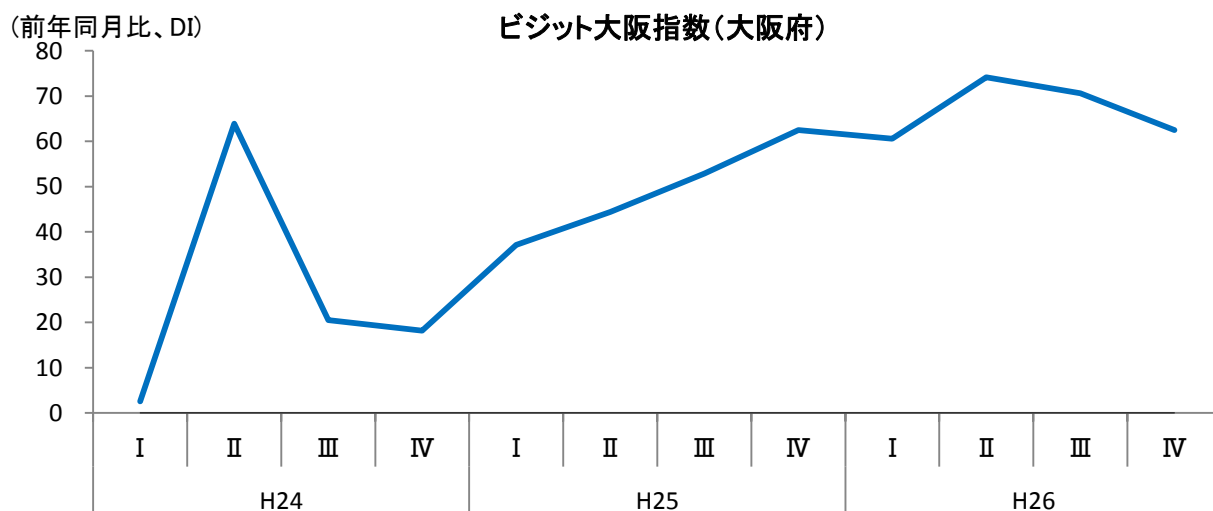
○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で34ヶ月連続の増加。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

| | 26年10月 | 11月 | 12月 |
|--------|--------|--------|--------|
| 万人 | 60.4 | P 60.1 | P 58.0 |
| 前年比(%) | 48.1 | P 47.6 | P 46.0 |

○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、10～12月期は低下。】



(資料)大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%)－「不調」の割合(%)。

| | 26年 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 |
|-------------------|-------------|------|--------|
| 業況判断DI (前年同期比) | 74.2 | 70.6 | 62.5 |